

多高通信

第222号 令和6年4月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

祝 49回生入学おめでとう!

4月8日、令和6年度入学式が挙行され、満開の桜に囲まれながら280名の新入生が多賀城高校に入学しました。入学式では、新入生代表の丹野さくらさん(松島中出身)が新入生を代表して宣誓を行いました。

翌9日には対面式・部活動紹介が5年ぶりに全校生徒が揃って体育館で行われ、各部の趣向を凝らした紹介動画や演奏、生徒会執行部のスピーチ等が行われました。また、ホームルームにおける学級開きでは初々しく自己紹介する姿が見られました。

その後は、学年オリエンテーションや授業ごとのオリエンテーションを経て、通常授業や部活動が順次始まっています。互いに親睦を深め、早く学校に慣れ、多高生として学習に部活動にどんどん力を注いでもらいたいと思います。



災害科学科

「防災と自分の身を守るプロジェクト」参加

3月9日(土)、10日(日)の2日間、エスパル仙台1階エスパルススクエアにおいて、国際交流事業の一環として開催された「防災と自分の身を守るプロジェクト」に参加しました。講演、対談、プレゼンテーション、発表、合唱など、盛りだくさんのプログラムとなる中、本校からは、災害科学科2年生2人により「トルコ・シリア地震募金活動」と題して、東日本大震災の恩返しの意味で諸活動しており、トルコ・シリア地震に対し集めた寄付金をトルコ大使館へ行き寄付金を渡したことなどの発表をしました。「災害から命と暮らしを守る」、自分ごととして、「助け合いの輪を広げたい」という強い意を示すことができました。



語学研究部

多賀城市「俳句のワークショップ」に参加

3月27日(水)、多賀城碑(壺の碑)で行われた俳句のワークショップに語学研究部員3名が参加しました。講師の宮城県出身の俳人である高野ムツオさ

んからアドバイスを受けながら、春の日差しを感じながら、俳句を詠む機会をいただきました。3月特有の冷たい風が吹き「春疾風(はるはやて)」という表現など、季語を紹介していただきながら、言葉に触れることができました。

また、昨年9月に参加した「多賀城を1300句で表すプロジェクト」で詠んだ自分たちの句が壺の碑の周りに展示されていたり、そのアクリル板は市役所がコロナ禍で使用していた仕切りの再利用と聞いたり、様々な気づきもありました。

【生徒の感想】

◎俳句は最終的には自分の作品となりますが、それをつくる過程では友達や高野ムツオ先生、顧問の先生などと話しながら探索したことで良い出来上がりとなりました。そのことから、多くの人と交流することでプラスにつながる場面が他の活動においてもあるのではないかと考えました。

◎今回は春をテーマにした俳句を読むとのことでしたが、冬の名残が多く残っており、春っぽい句を詠むのが中々難しかった印象でした。自然と密接により一体化できるようなこのイベントには是非次も参加し、自然についての自分の価値観を探求して行きたいと思いました。



吹奏楽部

ソロ・アンサンブル全国大会出場!

3月下旬から4月上旬にかけて多くの全国大会に参加し以下の結果を得ることができました。

「日本ジュニア管打楽器コンクール」全国大会
3月25日(月)〜30日(土)

尚美バリオホール(東京都)開催

アンサンブル部門 クラリネット8重奏出場

ソロ部門 フルート銅賞(3位)

「全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト」

3月27日(水)

桐朋学園宗次ホール(東京都)開催

マリンバ 東京都教育委員会賞(2位)

「日本ジュニア打楽器アンサンブルコンクール」

4月3日(水)

和光市文化センター(埼玉県)開催

打楽器8重奏 最優秀賞

いつも応援してくださる地域の方々、練習場所を借用させていただいている先生方に本当に感謝しております。これからも、聴いてくださる方々に感謝を届けられるような演奏を目指して頑張りたいと思いますので、今後とも、暖かいご声援を、よろしく願います。

